

# アートあふれる街を目指して

## ～第2回ストリートフェスティバル・イン・シズオカ～

静岡県内外のアーティストやミュージシャンが街かどに集い文化発信するイベント「ストリートフェスティバル・イン・シズオカ」。昨年に続く第二回が、昨年十一月十七・十八日、静岡市の青葉シンボルロードにて行われた。今回出展したアーティストは二十九組、出演したミュージシャンは三十八組。二百メートルにも渡る会場いっぱいアートブースやステージが広がり、ストリートに活力が溢れていた。

このイベントは、静岡市文化振興財団の呼び掛けに地元ストリートミュージシャンらが応じて、実行委員会が組織されたもの。

フェスティバルに込められた思いを、今回の副実行委員長であり、ストリートミュージシャン「Amusement Tao」のメンバーとしても活躍中の竹田公彦氏に寄稿してもらった。

「ストリートフェスティバル・イン・シズオカと静岡」

竹田公彦

第二回「ストリートフェスティバル」が終わった。様々な問題を残しつつも対外的にはまあ、成功と言つて良いと思う。大きなステージ、「いまだき縁日」と言うテーマ通り縁日を思わせるアートブース、時間も内容も一気に拡大し二年目のイベントとしては飛躍的な進歩だった。

このイベントは音楽やアートで活動している人を街のど真ん中に集めて、強引に文化交流を行うというイベントで



素手に塗料をつけて手描き。作品は現在も七間町に展示中。

アートに出会える。音楽とアートも互いに交流できる。これは見る人も見られる人も非常にハッピーでナイスな事だと考えた。だが、本当に大事なことはもつと他にある。

このイベントの根底に流れているのが音楽・アートに対する愛である事は勿論だが、それ以上に街に対する愛、「静岡」と言う地域に対する愛が流れている。もつと静岡近隣が盛り上がりつつ楽しくてなんかわかんないけどパワーのある所になって欲しい、その思いがこのイベントを生み出したと言つても過言ではない。その意味で本当に育てていきたいのはイベントそのものではなく、そこに集まる人そのものだと考えている。

高度情報技術が日進月歩で発達している近年、音楽にするアートにしろ、旧来のように大都市に行かなくては情報

### アートブース出展者

- 岡本仁見(アート)
- 徳丸信義(家具)
- SHIZUOKA GRAFFITI(ストリート系)
- ALTER(オブジェ)
- アートシスターズ(デザイン)
- Workshop Unity(ひもくじ)
- 長谷真由美(花籠)
- 鈴木優子(ガラス細工)
- Atelier SANGO(手作り雑貨)
- 38×Y(七宝アクセサリー)
- RKNSD(イラスト)
- I.S.M彫金教室(銀)
- 庵原高校(デッサン・CG)
- 鈴木伸之介(イラスト)
- 秋山末雄(書)
- 白鳥貴美恵(ステンドグラス)
- 水見色庵(木彫り像)
- バルインザアレイ(ウッドクラフト)
- Radinat MD'98(イラスト・写真・陶芸)
- 手作りまりの洋服屋(手作り小物・洋服)
- 鈴木美和(グラフィックアート)
- Bライン(絵画・彫刻)
- 内藤裕之(グラフィック)
- フローラルアートPur(フラワーアレンジ)
- 柴田享(木製アクセサリー)
- ヒ・ビ・キreasonance(陶器とリース)
- エコールドヴェール(ガラス雑貨)
- 静岡デザイン専門学校(ガラスアクセサリー・Tシャツ)
- ルネサンス・アカデミー・オブ・デザイン(Tシャツ・雑貨)



音楽ステージは3ヶ所!

を発信することが出来ないと言う「地域格差」はなくなりつつあると言える。

しかし実際はどうだろう。プロを目指すならば中央にでて行かなくてはと言う風潮は依然として強い。私は音楽をやっているので音楽に限って言えば、実力と向上心を持ったミュージシャンの大半はほとんど県外に流出している。

これはなぜだろうか。単純に言って静岡の街としてのポテンシャルがまだまだ低いからだとは思う。見る人も少なければ発信する場も少ない。音楽にもアートにも実際に見せる「ライブ的要素」がやはり不可欠であり、おそらく静岡にはその要素が足りないのだから。

かくして素晴らしいアーティストは県外に流出し、見る人も発信する場も育たない。デフレスパイラルではないが、堂々巡りの悪循環である。非常に勿体ない。

これを打破するためにこのイベントはある。イベントを通して人が育ち街が育ち、もっとハッピーな静岡になれば、きつともっともつと面白いことが出来るだろう。イベントが盛り上がるためだけのためにデカイ花火を打ち上げるようなことをするよりも、人や街をもっと深めていきたい。

結局何を言いたいのかというと、「自分たちが住んでいる街を楽しくするのは結局自分達自身なのだ」ということである。イベントはその思いがたまにたま具現化したものである。

想像して欲しい。毎日街へ出れば大道芸や音楽や芸術にあふれている、そんな街を。確かに今の時点では単なる夢物語に過ぎない。しかしそれを創造するのはやはり我々一人一人の力なのだ。「誰かが何とかする」

などと言うことはない。ここに住んでいる我々が優秀な出演者になり、スタッフになり、観客になることによつてこそ作り出せるものだと思う。

最後に皆さんに問おう。「皆さん、静岡が好きですか?好きななら一緒に、もっともつとハッピーな街にしませんか?」

私はハッピーな街に住みたいです。そこに愛もあります。そんな訳でストリートフェスティバルをこれからもよろしく。



水飴を食べながらの紙芝居。続きは来年だとか。

写真【なおこ】



2nd season

こんにちは。あまるです。

突然ですが、僕はとても変わった人間です。どこがどう変わっているか、うまくは説明できないけど。

そんな僕が、大道芸をしていて、いつも思うこと。この人達はなぜ立ち止まるのか。あの人達はどうして立ち止まらないのか。なぜだろうか。

僕は考えた。

そして考察の結果、こうなった。

大道芸を素直に見てしまう人は、だまされやすい人間で、大道芸に見向きもしない人は、用心深い人間である。うん、間違いない。

大道芸が好きな人。人にだまされないように気をつけてください。

しかしそうなると、大道芸がうまい人、というのはい人を欺く、惑わす力のある人、なのかもしれない。大道芸をうまくやりたい人。人をだましてください。なんかおかしい。

じゃあ人をだます力を磨くにはどうすればいいのか?僕は考えた。

自分も自分にだまされればいいんだと思った。自分にだまされる、なーんて変な言葉だけど、とつても抽象的というか、意味すら不明だろうけれど、それが自分の世界を他人に見せるために必要なことなのか?な?

僕にとってはそうなのかな?

まあ...僕は変わった人間だから。

【あまる】



第2話

「魔法の手の話」

自分の芸の中で、一番好きなのは風船芸。

色とりどりの長い風船をひねって、動物や花の形を作る。

最も近くでお客様と触れ合えるのが好き。目の前で笑顔をみられるから好き。

\* \* \*

昨年夏。

照りつける太陽と、見えない闇いしなながら、いつものように大道芸をしようと路上に立つて

マニアック・コラム

「僕と手のひら」

みなさん、健身球というものをご存じでしょうか？中国製の手のひらでくるくる回す鉄の球といえはわかるかもしれません。そんな健身球とその周辺についての軽い小話です。

一般に銀色の鉄の球を想像する人が多いと思いますが、中華街などに行つて店を覗いてみると龍が描かれたものや

いた私。

真夏の午後。道行く人々は涼しい場所を探して、足早に過ぎて行く。

：もう少し涼しい風が吹いてくるまで、大道芸始めるの待とうかな。大きな木の陰で、自分も涼みながら思案に暮れていた。

そんな私の耳に飛び込んできた、ひとつの声。

「お母さん、あれ、なあに？」  
日傘をさしたお母さんと、花柄のワンピースの小さな女の子。

指を差しているのは、私が持っているペットボトル：：に付けてあつた小さな花。風船で出来ている、小さな花。「風船で出来てるんだよ。」

おいで」

ポケットから風船を出して声を掛けてみた。彼女は母の顔を見上げて、母がうなずくのを確認した後、まっすぐに駆け寄ってきた。

その目は期待でキラキラと輝いている。鼻の頭に、玉の



汗をかきながら。これから起きる何かへの期待を隠せない様子で。赤い風船に息を吹き込んで、彼女の為に風船をひねる。

風船の音に驚いたり、私の話に声を立てて笑ったり：：。その表情がくるくる変わる。時折嬉しそうに母の目を見上げて、母もまたそれにながずく。

「ホラ。お花の腕輪だよ」  
そう言つて、少女の手に風船をつけると、飛び上がるように喜んでくれた。

「お母さん、見て！ すごいね！ 綺麗ね！」  
「お姉さんの手は、魔法の手だね!!」  
：：：：!!

なんて素敵な言葉なんだろう。：：！自分の手が魔法を使えるだなんて：：。

暑い夏の、ほんの短い時間の出来事が、それからの私の風船芸に、とても大きな力を与えてくれた。

ハリーポッターのようにはいかない。空を飛ぶ事も、何も無いテーブルの上にごちそうを出す事も出来ない。

でもこの小さな手で、夢や笑顔を与えてあげられる事を「魔法」と呼べるのなら。私はこう言えるようになった。

「これが、私の使える、最高の魔法なんだよ」  
【にゃんこ】

パンダの描かれたもの、さらには七宝焼でできたものなどいろいろな健身球があります。基本的に二つの球がセットで売られています。健身球を手のひらで回すためには指を使うので「ポケ防止になる」とよく言われます。その他にも肩こりなどによいらしいです。

さて、なぜ私が健身球に興味を持ったのかというとパームロールというものをやってきたからです。パームロール

というのとはコンタクトジャグリングと呼ばれる「ものを投げずに操る」という技術の中の1つです。原理的には健身球をくるくる回すのと一緒です。ですから、なにかしらルーツが健身球にあるかと思

い興味を持ったのです。しかし、残念ながら価値ある発見(技術的なもの)はあまりありませんでした。パームロールは片手で三個の球を回したり両手を使い複雑な動

きをしたりするのですが、どうも健身球には片手で二つを回す以上のことはしないようです。というのも当然のことかもしれません。西洋ではジャグリングというものが一つの職業として発展したのに対し、東洋ではそれらが政りごとや遊びとして扱われてきたためその方向性はおのずと異なってくるものだからです。

もちろん「遊び」だからこそ気軽に楽しめるということも

ありますし、「仕事」だからこそ人間業とは思えないようなことを習得しようとするのだと思います。  
「仕事」のなかでも「遊び」の精神は必要だと思ひますし、逆に「遊び」でもいろんなことに挑戦する精神があればそれは単なる「遊び」以上のものになると思ひます。  
少々話が脱線してしまいましたが、このへんで。  
【佐久川恵太】

# \* 大道芸いんふお \*

## アクトシティ浜松

『マジシャンとコメディアンが大集合!』  
JR浜松駅を降りてすぐのビルです。  
大道芸とお笑いでたくさん笑っちゃおう!

期間: 3月23日(土)・3月24日(日)

場所: 静岡県浜松市アクトシティ浜松

♪・・・2F・ガレリアモール

☆・・・6F・アクトギャラリー

3/23(土) -----

♪11:00~11:30 キシタカ  
♪11:45~12:15 スティーブ・マーシャル  
☆13:00~13:50 人形芝居くりちゃん  
♪14:15~14:45 キシタカ  
☆15:00~15:50 人形劇くりちゃん  
♪16:00~16:30 スティーブ・マーシャル

3/24(日) -----

♪11:00~11:30 ハッピー吉沢  
♪11:45~12:15 犬がニャーと泣いた日  
☆13:00~13:30 パペットマペット  
♪14:00~14:30 ハッピー吉沢  
☆15:00~15:30 パペットマペット  
♪15:45~16:15 犬がニャーと泣いた日

## 修善寺虹の郷

『スプリングパフォーマンスショー』  
梅から桜へ移り変わります。パンジーもキレイです。  
春休みは思い出作りに良い季節ですね。

期間: 3月21日(木・祝)~4月1日(月)

場所: 静岡県修善寺虹の郷・イギリス村

(開園時間は9:00~17:00、

入園料は大人1200円・小人600円)

3月21日(木)~3月27日(水) -----

三雲いおり 10:30~、12:30~、14:00~

3月28日(木)~4月1日(月) -----

ハッピー吉沢 10:30~、12:30~、16:30~

## 第26回 野毛大道芸

桜木町駅周辺です。

静岡の大道芸とはまた違った雰囲気です。

いくつ観られるかな?晴れると良いですね!

期間: 4月20日(土)~21日(日) 12:00~17:00

場所: 神奈川県横浜市(みなとみらい21・野毛)

## \*路上ミュージシャンいんふお\*

**足踏** リーダーとえっちゃんの2人組。

楽しそうに歌ってます!

■路上ライブ

毎月1回17:00~、

静岡市・青葉通り(雨天時はJR静岡駅北口周辺)

3月31日(日) 17:00~です、お間違いなく。

■CD アルバム『塩』静岡県内のすみやで発売中

<http://www8.big.or.jp/~tak-web/ashibumi/>

**Misato&Shin** 2人の“はっぴ〜びいと”，

よろこんで巻き込まれちゃおう!

■路上ライブ

毎週日曜日14:00~、青葉通り

■CD 静岡県内すみや等で発売中!

シングル『いちばん好きな季節』

アルバム『SMILE AND HAPPY BEAT』

■SBSラジオ「Misato & Shinのらじおの王子様」

毎週水曜日 21:45~22:00

<http://www17.u-page.sonet.ne.jp/cb3/shinta/>

**Amusement Tao** 聴かせ上手で話し上手、

OkachinとTakepanの2人組!

■路上ライブ

毎週金曜日夜、青葉通り

■CD アルバム『タオハジメマシタ』すみやにて!

■SBSラジオ「Amusement Taoのらじおの王子様」

毎週木曜日 21:45~22:00

<http://www.taoweb.org/>

【Hitomi】

### ◆編集後記◆

建設的に。

【さくがわ】

最近では街中の大道芸が日常の風景になってきて嬉しい限りです。

【にゃんこ】

今号から発行元が変わりました。移籍です。よく見ると、いろいろ変わってます。また犬と格闘しました。

【ひこ】

皆様からのご意見・ご投稿、おまちしています。

編集スタッフ随時募集中。  
資金援助常時受付中。

しずおか大道芸新聞

第3号

二〇〇二年三月八日発行

発行部数三〇〇部

編集・発行

しずおか大道芸新聞

お問い合わせ先

ひこ

TEL421-0133

静岡市中田4-5-28-201

電話・070-5647-4024

[hikoz@tokai.or.jp](mailto:hikoz@tokai.or.jp)